

◆ 生徒研究交流会 in 沖縄（理数科 2 学年）

12 月 7 日（木）に球陽高校で生徒研究交流会が行われた。交流会では、本校 6 名に加え、佐伯鶴城高校（大分県）、球陽高校、辺土名高校、名護高校、北山高校の計 6 校が参加し、そのうち 4 校がそれぞれの研究成果をポスターで発表した。お互いのポスター発表を聞き、質疑応答をすることでモチベーションを高め合う良い機会となった。

他の高校では、自分たちの町を明るくする研究だったり、犬の命を守る研究だったり、どれも面白くて記憶に残る発表でした。今回、たくさんのことに気づけて学べたし、たくさんの人たちと交流できてとても良い経験になりました。

同じ高校生の人々と交流する機会は初めてでとても良い刺激になった。大分県から来た高校生の発表も全然違うテーマや別の視点からの研究で、内容だけでなく話の展開の仕方や質問に対する答え方など参考になった。これから私たちの研究にも今回の学びを取り入れていきたい！

他のグループの発表を聞くことで、研究の進め方やいろいろな視点、考え方などに驚きました。その中でも紫外線の研究は私なら思いつかないような方法で実験をしていて、とても凄かったです。他にもヤンバルクイナやマングースの模型をつくらっているグループはヤンバルのことについてよくまとめられていてすごいと思いました。今回の交流会を活かしてもっと成長しようと思いました。



▲ 発表の様子



集合写真

◆ 九州高等学校生徒理科研究発表大会（熊本大会）（理数科 3 学年）

12 月 23 日、24 日に地学分野の県代表として、理数科 3 年生 2 名が九州高等学校生徒理科研究発表大会へ参加した。

大会では、100 名程度の参加者を前に生徒達は緊張していたが、明るく元気に発表していた。また、わかりやすく伝えようと努力しており、丁寧に質問にも答えていた。質問時間だけでなく休憩の時にも質問のある他校生が訪れるなど、他校の興味を引く良い発表であった。生徒交流会では、他校の生徒と協働して新聞紙を使ったワークショップを行い、物理的な見方・考え方を働かせながら工夫する姿が見られた。



研究発表の様子

研究テーマ「雨水の酸性度と気象要素の関係」



会場前で記念撮影♪



交流会の様子



集合写真